

【空知管内】図書館司書の活躍で読書環境をアップグレード(由仁町立由仁小学校)



「小さな本箱」が届ける本との新しい出会い

由仁小学校では、図書館と資料館の複合施設「ゆめつく館」の司書に、「小さな本箱」として、図書館の蔵書を月3回、学校に届けてもらっています。司書は、季節や子どもたちの様子や学習内容をもとに、子どもたちにぴったりの本を選んで提供しているので、読書の幅を広げる取組として、子どもたちにも、先生方にも大好評です。

「読書の先生」として図書館司書が大活躍

司書が講師となり、教員を対象に蔵書の表紙を保護するフィルムを貼る実技講習を行うなど、子どもたちの読書環境の整備に積極的に取り組んでいます。(写真左)

学校図書館の蔵書を紹介するPOPを作成する授業では、司書が、子どもたちに本をオススメするポイントを紹介しながら、子どもたちと一緒に見た人の心に響くPOPを作成しました。(写真右)



【オホーツク管内】 魅力的な図書館を目指して(紋別市立南丘小学校)

子どもが毎日行きたい図書館づくり

南丘小学校では、令和2年度から学校司書が常駐しており、展示物の作成、特設コーナーの設置など、読書環境の充実に大きな役割を果たしています。紋別高校の生徒がデザインした貸出本を記録する読書手帳の活用等により、貸出冊数は年々増加しており、令和5年度の児童一人あたりの貸し出し冊数は約34冊となっています。

司書教諭・学校司書・教職員が連携した取組

教職員の依頼に応じて、学校司書が市立図書館から資料を準備する体制が確立されているほか、図書館の入口に教科書で紹介されている本がわかりやすく配置されており授業に活用しやすい環境が整っています。また、司書教諭と学校司書が連携し、前年度の児童のお勧め本を教室に掲示したり、児童が作成したクイズの冊子を図書館に置いたりしています。そのクイズに正解するためには本棚から本を見つけ出す必要があるなど、楽しみながら本に親しむ工夫がされています。



教科書で紹介されている本の配置



図書館前の掲示板